

活動レポート

防災委員会

文責：防災委員会幹事 小林正明
大浦宏照

「平成 24 年度総会及び講演」報告

1. はじめに

2012年(平成24年)5月15日(火)、TKPガーデンシティ札幌きょうさいサロンにて平成24年度防災委員会総会を開催しました。

本稿では、総会概要及び平成24年度防災委員会の事業計画、併せて総会後の講演の概要について、報告します。



写真-1 高宮委員長の挨拶

2. 平成 24 年度総会の概要

平成24年度総会及び講演は、下表のとおり開催され、参加者数は41名でした。



写真-2 会場の様子

司会 防災委員会 幹事 小林正明
開会挨拶 防災委員会 委員長 高宮則夫
議事 防災委員会 幹事 大浦宏照

- (1) 平成23年度事業内容及び決算報告
- (2) 平成24年度事業計画及び予算

部会活動報告

地盤部会 部会長 榎本義一
交通部会 部会長 木村和之
都市部会 部会長 星野利幸
水工部会 部会長 渡辺敏也
防災教育WG メンバー 大浦宏照

『(仮称)大震災を教訓とした北海道の防災・減災に関する提言書』作成の進め方

説明： 防災委員会 幹事 大浦宏照
講演 「北海道における巨大地震と大津波」

講師：北海道大学大学院理学研究院

地震火山研究観測センター

教授・センター長 谷岡 勇市郎氏

閉会

3. 平成 24 年度事業計画

総会議事では、平成23年度活動に関する総括及び決算報告に引き続き、平成24年度の事業計画及び予算について説明し、会場出席者の承認が得られました。

平成24年度の活動内容としては、委員で構成される事務局(9名：総合幹事会)及び地盤(18名)、交通(18名)、都市(21名)、水工(20名)の4研究部会、防災教育(6名)の1WG体制による調査研究を進めます。

特に、今年度は、北海道本部全体と連携しながら防災委員会がエンジン役となって取り組む『(仮称)東日本大震災を教訓とした北海道の防災・減災に関

する提言書』の策定に着手します。この提言書の作成にあたりましては、今年度末までに作成作業を終えることを目標とし、市民向けの提言内容となるよう防災委員会の地盤・交通・都市・水工の4部会、防災教育WG、事務局のメンバーが主体となって具体的な検討作業を行い、北海道本部の関係する各委員会・各研究会の代表者、防災委員会の総合幹事会メンバー、北海道本部事務局等から構成する「東日本大震災プロジェクト実行委員会」を立ち上げて進めていく予定です。

また、防災委員会では、研究成果の発表の場として、あるいは外部講師による啓蒙活動の場として、技術士会会員のCPD支援につながる防災セミナーを継続的に実施していますが、今年度は重要命題の提言書作成を優先事項として、開催のタイミング等を考慮してできるだけ実施出来るよう検討していきます。

さらに、防災委員会の調査研究成果を社会へ還元するとともに、技術士の社会貢献に資することを目的として、市民防災セミナー・防災リーダー研修も実施しています。これは、札幌市各区にある区民センター事業を支援する形で進めているもので、個人個人の自覚に根ざした「自助」、身近な地域コミュニティなどによる「共助」などを広く社会に知っていただく市民向けセミナーです。平成23年度は、清田区、豊平区、中央区で計7回開催し、概ね50～80名の市民の参加を得て好評に開催しました。平成24年度も、プログラム内容や関連団体との連携など講演内容の拡充を図りつつ、開催する予定です。

4. 講演の概要

講演は、北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センターの谷岡勇市郎教授・センター長様から「北海道における巨大地震と大津波」と題して、2001年東北地方太平洋沖地震と津波、北海道の大地震と津波などの視点からご講演をいただきました。また、谷岡教授は、北海道防災会議地質専門部会で進められています津波浸水予測図の見直し等に深く関わっておられますので、これらに関するお話もしていただきました。



写真-3 谷岡教授のご講演

講演概要は、以下のとおりです。

【2001年東北地方太平洋沖地震と津波】

2001年太平洋沖地震では、海上保安庁の観測データから海底で20m以上の水平変位が確認されており、これらの観測結果から津波のシミュレーションが行われることを説明いただきました。そして解析の結果と現地で観測された津波とが良く整合していることを示され、シミュレーションの結果などが防災行政に活用されている現状についてお話しいただきました。

【北海道の大地震と津波】

北海道の沿岸に分布する津波堆積物の調査結果などから、過去の津波の規模や範囲を調査している現状が報告されました。その結果から、約500年周期で太平洋沿岸において大規模な地震と津波が発生することや、その影響範囲のシミュレーションの結果も紹介いただきました。また従来のシミュレーションでは説明できない津波の堆積物が見つかることから、北海道では見直し作業を実施中とのお話しをいただきました。

5. おわりに

防災委員会では、来年の平成25年10月に予定されています技術士会全国大会(札幌)開催を視野に置いて、市民を対象にした提言書の作成を優先に活動していきたいと考えております。もちろん、当委員会だけで対応できるものでもありませんので、北海道本部、あるいは関係機関と連携しながら進める必要があります。今後、技術士会の皆様方からの益々のご支援、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

(以上)